

生産動態調査

(統計課人口統計係)

繊維部門

(昭和33年9月分)

概況

織物

綿織物は生産高、引渡高とも前月より減少し、休業工場が2工場生じた。

絹織物は生産高、月末在庫高とも前月と殆ど同じであるが、製品売行不振の為引渡高は13%減少した。

メリヤス製品

メリヤス製品は前月不調だったが当月は好調に復し、生産高、引渡高とも増加し、月末在庫高が減少した。

その他

縫製品は作業服、乳児および子供服、既製服の生産高、および引渡高が増加しており、その他は減少している。

和、特紡は不況のため2工場廃棄し生産高、引渡高とも大巾な減少をみた。

(1) 対象工場数

業種	特紡和紡系	綿織物	絹織物	メリヤス製品	雑繊維製品	縫製品	製綿
対象	2	17	2	9	3	14	11
操業	2	15	2	9	2	14	11
休止	—	2	—	—	1	—	—

(2) 生産および出荷状況

部門別	品目別	単位	生産高		引渡高		月末在庫高	
			当月度	前月100対比	当月度	前月100対比	当月度	前月100対比
紡	計	封度	12,570	42	13,000	34	500	53
	綿糸	〃	—	—	—	—	—	—
	落綿	〃	7,800	88	8,000	88	500	71
績	ビスコフ	糸	—	—	—	—	—	—
	特紡綿	糸	4,750	—	5,000	—	—	—
織	和紡	糸	—	—	—	—	—	—
	織物	計	402,960	95	418,398	93	216,982	94
	綿織物	〃	313,482	93	315,586	89	117,533	99
	絹織物	〃	22,745	101	24,023	87	52,853	97
	絹紡織物	〃	4,209	105	4,104	111	5,290	102
	和紡織物	〃	22,328	78	30,184	116	32,409	80
	特紡織物	〃	—	—	—	—	—	—
物	スフ織物	〃	—	—	—	—	—	—
	人絹織物	〃	—	—	—	—	—	—
	合成繊維織物	〃	40,196	119	44,501	114	8,897	67
	メリヤス生地	封度	9,430	185	6,728	164	4,516	249
メリヤス製品	製品	計	12,883	107	24,024	137	10,197	94
	肌着	〃	1,910	95	2,099	210	1,241	87
	外衣	〃	664	272	664	272	—	—
	手袋	〃	6,687	78	16,770	106	5,357	108
	靴下	〃	3,622	299	4,491	886	3,599	81
雑繊維製品	計	封度	1,181	146	1,921	148	1,618	87
	漁網	〃	561	140	993	176	794	93
	漁具	糸	620	151	928	126	824	82
縫	学校服	着	664	62	704	57	1,285	97
	作業服	〃	10,988	153	6,915	232	8,555	191
製	制服	〃	3,126	43	3,126	43	—	—
	乳児および子供服	〃	1,578	143	1,799	260	1,502	90
	既成服	〃	2,350	116	2,953	127	1,636	108
品	中衣、肌衣	点	26,181	76	26,287	103	46,238	100
	中入綿	封度	59,986	140	55,916	143	24,140	120
製	ふとん綿	〃	269,797	151	256,491	142	61,039	128

★本表は、生産動態統計調査規則に定められている繊維工場を調査対象としたものであるが、特紡糸、和紡糸以外の紡績工場および抽出調査工場は含まれていない。

(昭和33年10月分)

概況

織物

綿織物は生産、出荷高とも前月と殆ど変りがない。休業中の一工場が廃業し、一工場が設備縮小により調査対象外となつた。

絹織物も生産、出荷高とも前月と殆ど同じである。

メリヤス製品

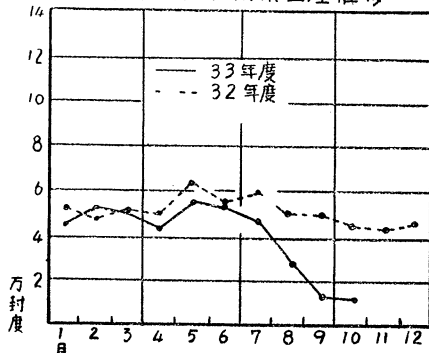
メリヤス製品は生産高が増加したが、出荷高は減少した。肌着は生産、出荷高とも増加しているが、在庫も増加しており、外衣、靴下は生産、出荷高ともに前月の約40~50%である。手袋は生産高が増加しているが、出荷高は減少している。

その他

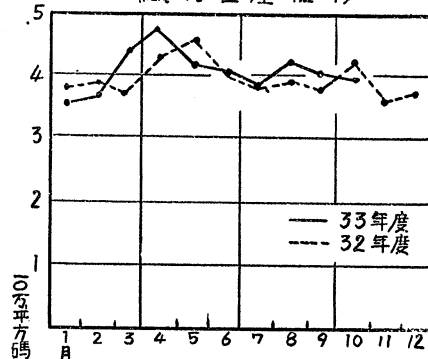
縫製品は制服、中衣、はだ着が生産、出荷高とも減少しているが、その他は、それぞれ大巾に増加している。

製綿は、生産、出荷高とも8月以降増加を続けているが、昨年同期に比べてはそれぞれ10%以上減少している。

持紡綿糸和紡糸生産推移



織物生産推移



(1) 対象工場数

業種	特紡和紡糸	綿織物	絹織物	メリヤス製品	雑繊維製品	縫製品	製綿
対象	2	15	295	10	3	14	11
操業	2	15	285	10	2	14	11
休止	--	--	10	--	1	--	--

(2) 生産および出荷状況

部門別	品目別	単位	生産高		引渡高		月末在庫高	
			当月度	前月100対比	当月度	前月100対比	当月度	前月100対比
紡	計	封度	12,475	99	12,000	92	975	195
	綿糸	〃	—	—	—	—	—	—
績	落綿	糸	10,100	129	10,000	125	600	120
	ビスコフ	糸	—	—	—	—	—	—
績	特紡綿	糸	2,375	50	2,000	40	375	—
	和紡	糸	—	—	—	—	—	—
織	織物計	平方碼	395,840	98	413,757	99	197,181	91
	綿織物	〃	308,097	98	316,173	100	110,575	94
織	絹織物	〃	22,821	100	24,841	103	50,833	96
	絹紡織物	〃	4,013	95	5,045	123	4,258	80
物	和紡織物	〃	17,907	80	23,602	78	23,233	72
	特紡織物	〃	—	—	—	—	—	—
物	スフ織物	〃	—	—	—	—	—	—
	人絹織物	〃	—	—	—	—	—	—
物	合成繊維織物	〃	43,002	107	44,096	99	8,282	93
	メリヤス生地	度封	9,476	100	15,243	227	14,549	322
メリヤス製品	製品計	打	15,559	121	16,912	70	9,204	90
	肌着	〃	3,760	197	3,080	147	2,201	177
メリヤス製品	外衣	〃	308	46	295	44	13	—
	手袋	〃	9,380	140	11,140	66	3,677	69
メリヤス製品	靴下	〃	2,111	58	2,397	53	3,313	92
	計	封度	1,573	133	1,699	88	1,899	117
雑織雑製品	漁網	〃	773	138	917	92	945	119
	漁具	糸	800	129	782	84	954	116
縫製	学校服	着	1,773	267	1,928	274	1,130	88
	作業服	〃	21,571	196	29,837	431	289	3
製	制服	〃	1,706	55	1,706	55	—	—
	乳児および子供服	〃	3,359	213	3,557	198	1,582	105
品	既成服	〃	3,058	130	4,411	149	1,783	109
	中衣・肌着	点	17,921	68	20,819	79	43,340	94
製	中入綿	封度	65,989	110	65,225	117	24,904	103
	ふとん綿	〃	272,985	101	263,732	103	70,292	115

★本表は、生産動態統計調査規則に定められている繊維工場を調査対象としたものであるが、特紡糸、和紡糸以外の紡績工場および抽出調査工場は含まれていない。

機 械 部 門

(昭和33年9月分)

概 況

機械工業 機械工業全体の生産額は5月の40億を割る生産減より6月にいたり48億(22%増)と急激に回復し以降順調な生産が続いている。

業種別の生産額前月比を見るに金属製品および電気機械器具は余り変化なく一般産業用機械の90%増、農業用機械60%増と大巾に増加している。機械製造業は29%増である。

反面前月まで好調であつた輸送用機械器具が22%程減少を示している。従業者は7月以降毎月少数であるが減少の傾向にある。

機 械 工 業 (数量=1g、金額=千円)

33 金属製品製造業		洋食器、刃物、 332 手工具、一般金 物製造業		334 構築用金属 製品製造業		339 その他の金属 製品製造業		33 そ の 他		34 機械製造業	
数 量	金 額	数 量	金 額	数 量	金 額	数 量	金 額	数 量	金 額	数 量	金 額
41,196	8,933	9,845	5,231	29,592	2,514	1,759	1,188	—	—	3,595,770	1,793,539
										517,795個 622基	
341 ボイラー原動機製造業		342 農業用機械製造業		344 金属加工機械製造業		346 特殊産業用機械製造業		347 一般産業用機械装置製造業		349 その他の機械、機械部分品製造業	
数 量	金 額	数 量	金 額	数 量	金 額	数 量	金 額	数 量	金 額	数 量	金 額
1,529,641	1,064,378	22,298	7,522	7,918個 143,278	54,163	24,319	10,178	1,868,624	634,232	509,877個 622基	14,016
34 そ の 他		35 電気機械器具製造業		351 発電用、送電用、配電用産業用電気機械器具製造業		352 民生用電気機械器具製造業		354 通信機械器具、同関連機械器具製造業			
数 量	金 額	数 量	金 額	数 量	金 額	数 量	金 額	数 量	金 額	数 量	金 額
7,610	9,050	106,275台 263,186個	3,228,785	74,345台 152,665個	2,591,385	29,378台 72,180個	465,332	2,046台 15,630個	74,813		
357 電気計測器製造業		35 そ の 他		36 輸送用機械器具製造業		361 自動車、同付属品製造業		363 自転車、リヤカー同部分品製造業		369 その他の輸送用機械器具製造業	
数 量	金 額	数 量	金 額	数 量	金 額	数 量	金 額	数 量	金 額	数 量	金 額
496台 22,711個	88,757	10台	8,500	345,866台 3両 8,762個	105,769	345,834台	16,621	5,720個	429	27台 3両	86,360
36 そ の 他		37 計量器、測定器、測量機械、理光学機械、光学機械、時計製造業		機械工業総数		対象事業所数		51		金額対比	
数 量	金 額	数 量	金 額	数 量	金 額	数 量	金 額	事業所数	金額対比	前月	前年同月
—	—	3,042個 5台	2,359	3,636,966 789,743個 452,141台 622基	5,137,028	3,636,966 789,743個 452,141台 622基	5,137,028	22,917	108.7	—	

※ 本表は下記の定義にもとづいたものである。

1. 分類方法は日本標準分類製造業Fによる。
2. 調査内容は生産動態統計調査規則機械品目表中にある工場従業員20名以上(超硬工具自転車工業10名作業員5名以上)を有するものを対象とした。

鑄物工業 生産額を総体的に見ると前月に比較し約10%程度減少している。

銅鑄物30%、その他銅鑄物65%と増加しているが上記以外は何れも低調である。

従業者は機械工業と同様7月以降毎月減少している。

鑄 物 工 業 (重量=kg、金額=千円)

品 目	鑄物総数		鋳鉄鑄物		銅 鑄 物								アルミニウム鑄物	
					銅		青銅		黄銅		その他銅			
	重量	金額	重量	金額	重量	金額	重量	金額	重量	金額	重量	金額	重量	金額
産業機械用器具	139,251	14,781	131,999	11,132	3,242	1,695	1,715	661	113	40	160	113	2,022	1,140
繊維機械用器具	1,173	110	1,173	110	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
鉄道・車輛用	132,967	20,941	110,490	10,406	282	134	20,828	9,577	—	—	—	—	1,367	824
電気・通信用	340,614	53,346	277,429	23,668	36,869	19,086	23,390	9,049	—	—	—	—	2,926	1,543
農器具用	96,416	9,066	96,410	9,063	—	—	—	—	—	—	—	—	6	3
港湾・船舶用	7,661	3,857	—	—	7,278	3,573	145	217	222	62	14	4	2	1
日用品用	3,164	181	3,164	181	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
鑄型・鑄型用	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
定盤・パック用	9,560	2,774	—	—	—	—	5,930	1,685	3,630	1,089	—	—	—	—
軸受メタル用	4,339	3,254	—	—	—	—	4,339	2,732	—	—	—	531	—	—
管継手用	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
建築用	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
精密機器用	231	104	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	231	104
自動車用	2,100	770	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	2,100	770
その他の機械器具用	11,443	760	11,265	697	—	—	175	62	—	—	—	—	3	1
その他	5,740	395	5,679	364	—	—	—	—	53	26	—	—	8	5
計	754,659	110,339	637,609	55,621	47,671	24,488	56,522	23,974	4,018	1,217	174	648	8,665	4,391
対 比 前 月	85.4	91.7	83.9	87.0	123.5	129.7	86.6	82.1	38.1	36.2	19.1	164.9	97.5	95.8
対象事業所数	29		20		13								9	
事業所当該人員	17,503		17,310		17,194								16,931	

※本表は下記の定義にもとづいたものである。

1. 従業員が鋳鉄鑄物は10名以上銅合金鑄物、軽合金鑄物は5名以上を有するものを対象とした。
2. 鑄物総数欄中対象事業所数および事業所当該人員は実数である。

(昭和33年10月分)

概 況

機械工業 機械工業全般の生産額は4月以降の最低を示し前6ヵ月平均55億円にたいし本月36億円(34%減少)と大巾に減少している。

これを業種別に見るとF33金属製品(前月比65.0%) F34機械(前月比55.8%) F35電気機械器具前月比(77.2%)と減少しており、わずかに F36輸送用機械器具前月比(128.9%) F37計量器、測定器、測量機械、医療機械、理化学機械、光学機械、時計製造業前月比(125.7%)といく分の増加があるのみである。

従業者については本年6月の23,736名を最高とし毎月減少し10月までに約3.6%程度少なくなっている。

機 械 工 業 (数量=kg、金額=千円33)

33 金属製品製造業		332 洋食器、刃物、手工具 一般金物製造業		334 構築用金属製品製造業		339 その他の金属製品製造業	
数 量	金 額	数 量	金 額	数 量	金 額	数 量	金 額
11,578	5,813	9,360	4,802	1,100	80	1,118	931
33 そ の 他		34 機械製造業		341 ボイラー原動機製造業		342 農業用機械製造業	
数 量	金 額	数 量	金 額	数 量	金 額	数 量	金 額
—	—	1,479,301 521,278個 564基	1,001,283	519,100	586,506	26,712	6,885
344 金属加工機械製造業		346 特殊産業用機械製造業		347 一般産業用機械装置製造業		349 その他の機械、機械部分品製造業	
7,336個 98,913	37,039	38,007	11,907	791,389	333,856	513,942個 564基	17,894
34 そ の 他		35 電気機械器具製造業		351 発電用、送電用、配電 産業用電気機械器具製造業		352 民生用電気機械器具製造業	
数 量	金 額	数 量	金 額	数 量	金 額	数 量	金 額
5,180	7,196	104,183台 236,598個	2,493,916	67,281台 63,482個	1,790,285	34,382台 33,866個	501,108
354 通信機械器具、同関連機械器具製造業		357 電気計測器製造業		35 そ の 他		36 輸送用機械器具製造業	
数 量	金 額	数 量	金 額	数 量	金 額	数 量	金 額
1,986台 15,068個	108,016	520台 24,182個	80,307	14台	14,200	439,542台 1両 5824個	136,429
361 自動車、同付属品製造業		363 自転車、リヤカー同部分品製造業		369 その他の輸送用機械器具製造業		36 そ の 他	
数 量	金 額	数 量	金 額	数 量	金 額	数 量	金 額
439,489台	18,548	5,824個	452	53台 1両	117,429	—	—
37 計量器、測定器、測量機械、医療機械、理化学機械、光学機械、時計製造業		機械工業総数		対象事業所教		51	
数 量	金 額	数 量	金 額	事業所		金額対比	
5,634台	2,966	1,490,879 769,334個 543,725台 564基 1両	3,640,407	当該人員		前月 70.8 前年同月 —	

※本表は下記の定義にもとづいたものである。

1. 分類方法は日本標準分類製造業Fによる。
2. 調査内容は生産動態統計調査規則機械品目表中にある工場で従業員20名以上(超硬工具自転車工業10名作業員5名以上)を有するものを対象とした。

鑄物工業 鑄物生産を総体的に見ると余り大きな変化はないが、アルミニウム鑄物については5月の生産額 360円を最低とし少額ではあるが毎月増加の一途をたどり10月分では5月に比し52%の増加である。

従業者は4月以降毎月減少している。(4月よりみると10月分では5%減少)

鑄 物 工 業

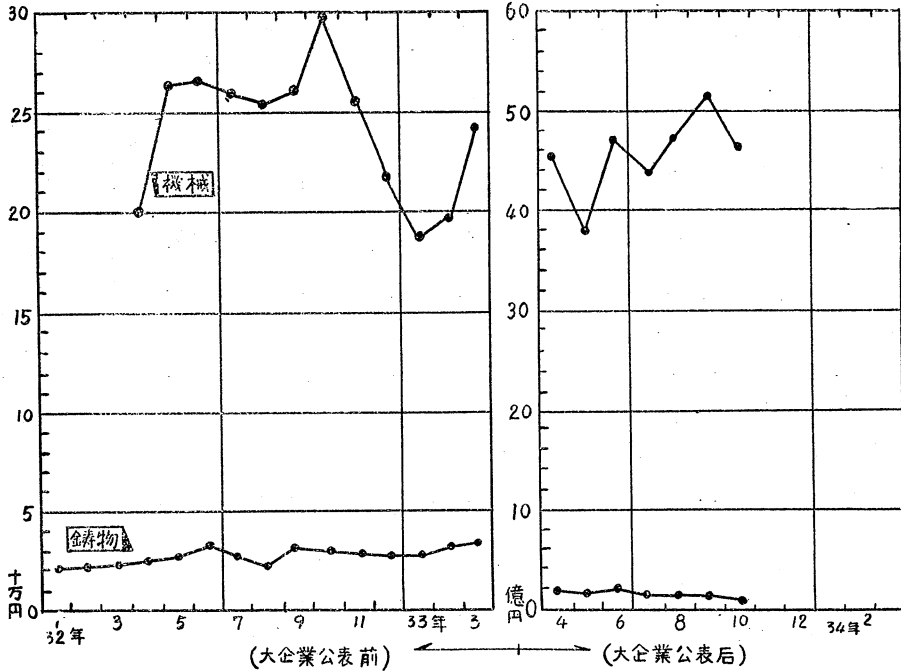
品 目	鑄物総数		鋳鉄鑄物		銅 鑄 物								アルミニウム鑄物			
					銅		青銅		黄銅		その他銅					
	重量	金額	重量	金額	重量	金額	重量	金額	重量	金額	重量	金額	重量	金額		
産業機械用具	216,463	18,798	206,984	14,184	4,460	2,207	1,766	746	—	—	1,317	582	1,936	1,079		
繊維機械用具	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—		
鉄道・車輛用	54,141	15,468	26,129	2,400	560	270	26,004	11,787	—	—	—	—	1,448	1,011		
電気・通信用	302,320	47,446	238,557	19,341	34,403	16,192	25,938	9,914	—	—	—	—	3,422	1,999		
農器具用	223	96	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	223	96		
港湾・船舶用	67,533	9,647	56,700	4,480	9,910	4,800	641	223	—	—	8	4	274	140		
日用品用	4,200	225	4,200	225	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—		
鑄型・鑄型用	900	31	900	31	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—		
定益用	9,339	2,793	—	—	—	—	3,486	1,037	5,853	1,756	—	—	—	—		
パコック用	5,042	4,189	—	—	—	—	5,042	3,745	—	—	—	444	—	—		
軸受メタル用	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—		
管継手用	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—		
建築用	2	1	—	—	—	—	2	1	—	—	—	—	—	—		
精密機具用	328	131	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	328	131		
自動車用	3,100	1,058	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	3,100	1,058		
その他の器具用	14,680	921	14,408	790	—	—	272	131	—	—	—	—	—	—		
その他	6,618	356	6,618	356	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—		
計	684,889	101,160	554,496	41,807	49,333	23,469	63,151	27,584	5,853	1,756	1,325	1,030	10,731	5,514		
対比前月	90.7	91.6	86.9	75.1	103.4	95.8	111.7	115.0	145.6	144.2	76.1	41.5	8.9	123.8	125.5	
対象事業所数	29		20										13		9	
事業所当該人員	17,265		17,066										16,861		16,705	

※本表は下記の前義にもとずいたものである。

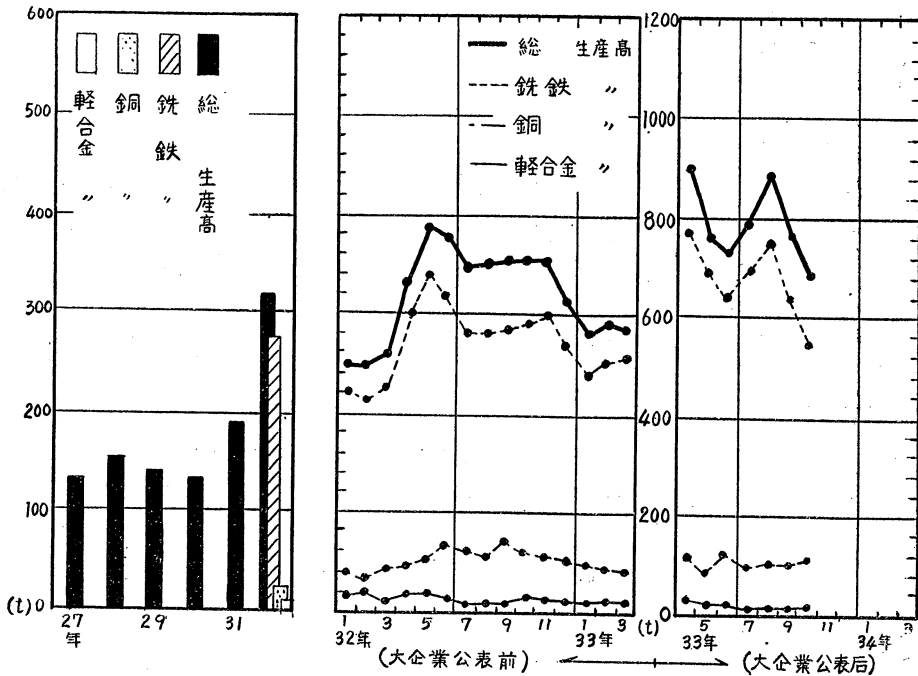
1. 従業者が鋳鉄鑄物は10名以上銅合金鑄物、軽合金鑄物は5名以上を有するものを対象とした。
2. 鑄物総数欄中対象事業所数および事業所当該人員は実数である。

【図表次頁参照】

生産金額の推移



鋳物生産高の推移



●●●●● 雑 貨 部 門 ●●●●●

(昭和33年9月分)

概 況

革靴 今月の生産数量は294足で前月に比べると10%の減であり、出荷数量は289足でわずか4%の減であった。
漆器 今月は生産数量2,605個で前月に比べると27%の増である。これを前年同月に比べれば157%になり、出荷においても13%と伸びている。
建築用コンクリートブロック 今月の生産数量は39,541個で前月に比べると88%となり12%の減であった。
陶磁器 今月の生産数量は175,109キログラムであり前月に比べると12%の増であった。これを前年同月と比較すれば31%の減であった。

業 種	製 品 名	区 分 位	生 産 数 量			出 荷 数 量			月 末 在 庫 数 量	事 業 所 数 (操業)	
			数 量	前月対比 %	金 額 (千円)	数 量	前月対比 %	金 額 (千円)			
											数 量
革 靴	総 数	足	294	90	752	289	96	793	510	5(5)	
	男 子 総 革 靴	〃	223	89	611	220	102	644	246		
	婦 人 総 革 靴	〃	67	88	139	65	77	147	264		
	そ の 他 靴	〃	4	—	2	4	—	2	—		
漆 器	総 数	個	2,605	127	1,076	2,585	130	1,057	143	11(8)	
	食 器 類	〃	400	—	12	400	—	12	—		
	容 器 類	〃	505	106	69	505	108	65	10		
	食卓子、膳盆類	〃	1,650	119	985	1,630	123	970	130		
	そ の 他	〃	50	25	10	50	25	10	3		
建 築 用 コ ン ク リ ー ト ブ ロ ッ ク	総 数	個	36,541	88	1,089	44,562	90	1,499	46,706	5(5)	
	A種 { 基 本 型	〃	1,355	128	38	2,248	76	76	1,716		
	{ 異 型	〃	—	—	—	460	255	14	920		
	B種 { 基 本 型	〃	2,140	137	64	2,100	89	84	208		
	{ 異 型	〃	—	—	—	—	—	—	—		
	C種 { 基 本 型	〃	19,455	104	635	20,319	87	738	23,084		
	{ 異 型	〃	3,565	79	110	4,476	154	167	8,575		
帳 壁 用 ブ ロ ッ ク	〃	8,506	57	197	14,419	85	399	11,223			
陶 磁 器	総 数	珎	175,109	112	19,267	147,642	87	19,189	135,841	17(16)	
	電 気 用 品	特別高圧用碍子	〃	32,223	106	9,613	32,223	106	9,613		—
		高 圧 用 碍 子	〃	—	—	—	—	—	—		—
		低 圧 用 碍 子	〃	—	—	—	—	—	—		—
		そ の 他	〃	6,144	125	8,179	6,204	128	8,349		20
	家 庭 用 品	〃	117,420	133	1,202	87,783	95	929	131,391		
	衛 生 用 品	〃	18,000	56	186	20,000	50	198	1,100		
	が ん 具	〃	1,322	128	87	1,432	148	100	3,230		
そ の 他	〃	—	—	—	—	—	—	100			

※ 革靴、陶磁器は5人以上の事業所、漆器、コンクリートブロックは全事業所である。

(昭和33年10月分)

概況

革靴

今月は生産3%、出荷1%の増加になっており、これを前年同月と比較すれば生産、出荷共に8%の増加を行っている。

漆器

今月の生産数量は1,912個で前月に比べると27%の減であった。これは、休業事業所が6工場あったからである。

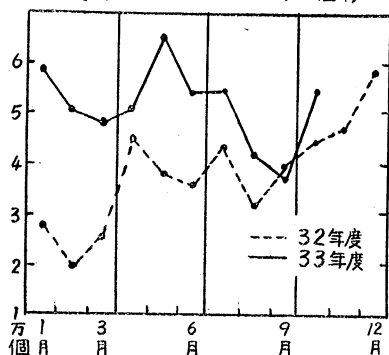
建築用コンクリートブロック

今月は生産47%出荷24%とそれぞれ増加しているが、これは、9月分の生産、出荷高が特に少なかったためであり、当月は旧に復したものである。

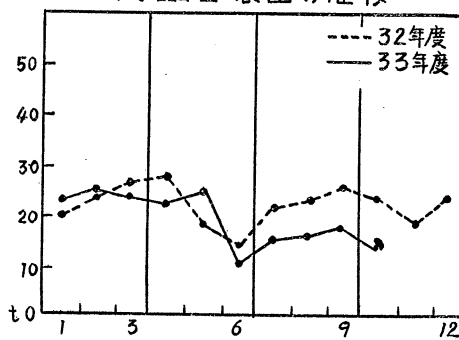
陶磁器

今月の生産数量は130,554キログラムであり、前月に比較すると25%減であった。

建築用コンクリートブロックの推移



陶磁器製品の推移



業種	区 製品名	単 位	生産数量			出荷数量			月末在 庫数量	事業所 数 (操業)
			数量	前月対比 %	金額 (千円)	数量	前月対比 %	金額 (千円)		
革靴	総数	足	303	103	817	291	101	805	522	5(5)
	男子総革靴	〃	232	104	662	221	100	643	257	
	婦人〃	〃	71	106	155	70	108	162	265	
	その他靴	〃	—	—	—	—	—	—	—	
漆器 (木製)	総数	個	1,912	73	1,027	1,932	75	1,036	123	11(5)
	食器類	〃	—	—	—	—	—	—	—	
	容器類	〃	460	91	75	460	91	75	10	
	食卓用膳盆類 その他	〃	1,452	88	952	1,472	90	934	110	
建築用 コンクリート ブロック	総数	個	53,774	147	1,553	55,187	124	1,746	45,793	5(4)
	A種 { 基	本	4,846	357	132	3,885	173	132	2,677	
	異	型	960	—	29	375	82	11	1,505	
	B種 { 基	本	—	—	—	—	—	—	208	
	異	型	—	—	—	—	—	—	980	
	C種 { 基	本	18,683	96	630	22,676	112	793	19,091	
	異	型	1,258	35	43	4,307	96	154	5,526	
帳壁用	〃	28,027	329	719	23,944	166	656	15,806		
陶磁器	総数	疋	130,554	75	19,878	142,521	97	20,132	90,114	17(4)
	特別高圧用碍子	〃	25,781	80	8,704	25,781	80	8,704	—	
	電気用 高圧用碍子	〃	—	—	—	—	—	—	—	
	低圧用碍子	〃	—	—	—	—	—	—	—	
	その他	〃	7,964	130	10,162	7,984	129	10,214	—	
	家庭用品	〃	73,190	62	755	84,142	96	931	86,679	
	衛生用品	〃	23,000	127	226	24,000	120	232	100	
	がらん具 その他	〃	619	47	31	614	43	51	3,235	
〃	〃	—	—	—	—	—	—	100		

※革靴、陶磁器は5人以上の事業所、漆器、コンクリートブロックは全事業所である。